

平成 30 年度 園芸学会東海支部シンポジウム
「園芸品目における地球温暖化に対応した技術」

司会：春日重光氏（信州大学農学部 教授）

1. 近年の温暖化が「市田柿」の果実生産および干し柿加工に及ぼす影響
長野県南信農業試験場 等々力 友也氏
2. 間欠冷房と高圧細霧によるコショウランの冷房コスト低減技術
愛知県農業総合試験場 服部 裕美氏
3. 長野県におけるレタスの温暖化対策技術
長野県野菜花き試験場 小松 和彦氏

○司会者・講演者のプロフィール

司会者：

春日重光氏 信州大学農学部 教授

植物資源科学コース（栽培学研究室）で、飼料作物や水稲、果樹、野菜、花きを素材として、品種改良や栽培方法の改善に取り組む。

講演者：

等々力友也氏 長野県南信農業試験場栽培部 技師

平成 25 年～果樹試験場育種部で核果類を担当、平成 29 年から現職、主な職務内容は、地球温暖化が日本なしおよび市田柿栽培に及ぼす影響評価と対策技術

服部裕美氏 愛知県農業総合試験場園芸研究部 花き研究室 主任研究員

平成 14 年から 東三河農林水産事務所農業改良普及課、平成 19 年～農業総合試験場 園芸研究部 花き研究室、平成 26 年～海部農林水産事務所農業改良普及課、平成 30 年～現職、主な職務内容は、県オリジナルカーネーション品種の開発、キクにおけるキク矮化ウイルスの種子伝染の解明、コショウランの低コスト高温対策技術の開発

小松和彦氏 長野県野菜花き試験場野菜部 主任研究員

平成 3 年～佐久農業改良普及所等、平成 9 年～野菜花き試験場野菜部、佐久支場、平成 30 年から現職、主な職務内容は、レタスの生育予測技術、加工・業務用レタスの栽培技術、電解機能水の野菜栽培への利用技術、カラーピーマン、春どりキャベツの生産安定技術